バスケットボールの基本的指導過程作成（2021下呂市）

|  |  |
| --- | --- |
| 運動習熟の過程 | それらしくできる　　　　　　　　　 　　　　　できる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　うまくできる |
| 対象の学年 | １年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２年　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３年 |
| 意識の広がり | ボールの動き　　　　　場所　　　　　　　　　　味方の動き　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相手の動き |
| ゲームの様相 | ゴール前のスペースを使ったり作ったりして攻める相手がゴール下に戻る前に攻める　相手に囲まれる前に広がり、正確にパスをつないで攻める　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| ねらい | 仲間と連携してゴール前の空間を使ったり、空間を作り出したりして攻めることができる。ゾーンディフェンスを活用して、縦と横のスペースを有効に使い、相手が戻る前に攻めることができる。ＤＦに囲まれる前に，早く広がって早くパスをつなぎ，シュートを打つゲームができる。 |
| 練習方法 | ５対０・５対１・５対２・５対３・５対４・５対５　　　※３対０・３対１・３対２などグループの実態に応じて工夫 |
| ルール | 制限付きゲームドリブルなし　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ドリブルあり |
| 知識及び技能 | 戦術 | 　　　　　　　　ピボットを使ってつないで攻める攻め手の人数を増やして攻める　カットインプレーを使って攻めるゾーンディフェンスから速攻を使って攻める　 |
| ボール操作 | On theball  | ゴール下シュート（つま先をゴールに向ける）　　　　レイアップシュートピボットターン（ボールを相手から遠ざける）　パス（つま先をパス方向に向ける）　　　　　　　　　 　　　　　ドリブル |
| 空間に走りこむ動き | OffTheball | ボール保持者と自分の間に相手がいない場所に動く　　　縦や横の空いたスペースに動く　　　　　　　　　　空間を作り出すマークをかわして動くボールサイドを使って広がる　　円を描くように走る　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 思考力、判断力、表現力等 | 攻防などの課題の発見 | On theball  | ボールをもったらゴールを見る　パスできる味方を待つ　　　　　　　　　　　相手が戻る前にゴール方向にパス　相手がいない場所に動こうとしている味方にパス　　　　　　　　どのパスコースを選ぶか |
| OffTheball | ボール保持者と自分の間に相手がいない場所　　相手が戻るよりも早く走るもどる、助けに行く　　　　　　　　　　　　　　　　　　どのパスコースになるか |
| 自己の考えたことを他者に伝える | 「どんな時に、どこに動いて、何をするか」という視点で個人課題を立てる作戦板のマグネットを操作する作戦に沿った個人課題を立てる　個人課題を判断して立てる　役割に応じた個人課題を立てる　個人課題を修正したり認め合ったりする（「思考の流れ図」を基に）　　　　　　　　　　　（「思考の整理図」を基に）できない・分からないことを聞く　 |
| 学びに向かう力，人間性等 | 作戦などについての話し合いに参加しようとすること | 仲間の指示に応え，まとまって活動しようとする個人課題を仲間に発信する　　分からないことを自分から聞く仲間の援助に応える　　　　　　　仲間の指摘に応える |
| １人１人の違いに応じたプレイを認めようとする | 認め、励ましの声をかける個人課題を共有する　　　個人課題の達成を認め合う成果を要求したり頑張りを認めたりする |
| 仲間の学習を援助しようとする | うまくできない仲間に困っていることを尋ねる　　　　　　　　　　　　　うまくできない仲間の気持ちに寄り添った関わりうまくできない仲間の課題に対し、グループ全員で解決に向かう |